

差出人: csih@googlegroups.com は 橋本 英樹 <hidekih@wine.plala.or.jp> の代理  
送信日時: 2015年4月16日木曜日 21:09  
宛先: csih@googlegroups.com  
件名: [CSIH] 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2015年4月16日発行

////////////////////////////////////  
/ 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2015年4月15日発行 /  
/ 中部産業遺産研究会にご興味のある方に、このメールを是非転送して下さい。

【中部産業遺産研究会の入会案内はこちら】  
<http://csih.sakura.ne.jp/nyuukaiannai.html>



「遙かなる和鉄」  
チラシ.pdf

【中部産業遺産研究会のホームページはこちらから】  
<http://csih.sakura.ne.jp/index.html>

【CONTENTS】

---

- 【1】 中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定
- 【2】 四日市市四郷郷土資料館の見学会のお知らせ／寺沢安正【再送】
- 【3】 書籍案内：「遙かなる和鉄」【New】
- 【4】 大人の算数・理科シリーズ：モノづくりの原点 第20回／杉本漢三【New】

---

【1】 中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

---

【注意】  
2015年7月の第135回例会の日時が変更になりましたのでご注意ください。

- 第23回総会・第134回研究会 2015/05/17(日) 13:00～ 名城大学 名駅サテライト大会議室  
記念講演「スウェーデンの技術教育遺産としてのスロイド（手工）教育」横山悦生
- 第135回例会 2015/07/12(日) 13:00～ 産業技術記念館 ホールA
- 第136回例会・見学会 2015/09/27(日) 10:00～ 木曾川文庫、木曾川下流改修工事  
関連施設、資料館、周辺施設など予定
- 平成27年度パネル展 2015/11/17(火)～29(日) 名古屋都市センター11階  
テーマ「東海の絹・文化と産業遺産」
- 第137回例会・パネル展講演会 2015/11/22(日) 13:00～ 名古屋都市センター11階

---

【2】 四日市市四郷郷土資料館の見学会のお知らせ／寺沢安正【再送】

---

平成27年度パネル展「東海の絹・文化と産業遺産」を11月17日（火）から29日（日）まで  
名古屋都市センター11階（金山駅前・金山南ビル）で開催します。

その事前調査として四郷郷土資料館の見学会を開催します。

- 1 日時：4月25日（土）13：00～17：00
- 2 集合場所：近鉄名古屋駅正面改札口に13：00（13：21急行に乗車）
- 3 資料館  
(1) 所在地：四日市市西日野町3375  
(2) 概要：東の富岡製糸場、西の室山製糸場と言われ、館内に富岡製糸場の設計図を保管  
(3) 当日、室山製糸場創設者伊藤小左衛門の直系伊藤康則保存会副会長に案内して頂く予定

なお、見学希望者は4月20日（月）までに寺沢安正までお知らせください。  
希望者4名以内の時は大橋事務局長の車に乗車していきます。

お申し込みは寺沢安正まで電子メールにて。  
電子メールメール：[terazawa@yk.commufa.jp](mailto:terazawa@yk.commufa.jp)

---

### 【3】書籍案内：「遙かなる和鉄」【New】

---

産業考古学会会員の長島節五様より、書籍、「遙かなる和鉄」のご案内を頂きましたので皆様に転送いたします。本メールの添付ファイルも合わせてご覧ください。

日本鉄鋼協会も創立100周年を迎え、2月3日記念祝賀会を催しました。  
本フォーラムも100周年記念事業の一環としてこれまで17年間の研究成果を厳選し、  
成果を広く訴求するため「遙かなる和鉄」として2月3日に出版いたしました。

鉄の技術・歴史・民族学などに興味をお持ちの皆様には是非、ご購入いただきたく  
ご案内いたします。  
詳細は添付ファイルのパンフレットをご覧ください。  
パンフレットには注文申込書もついておりますのでご利用ください。

なお、2月19日現在  
MARUZEN&JUNKUDO ネットストア  
ローソンネットショッピング ロッピー  
ヨドバシ.COMなどのネットでも購入できるようです。  
アマゾンにはとんでもない悪い奴が¥8260円を出していますが、引っかけから  
ないようにご注意ください。

---

### 【4】大人の算数・理科シリーズ：モノづくりの原点 第20回／杉本漢三【New】

---

## ベルヌーイの定理

中学理科では、流体力学は授業にないから、生活に密着しない現象と軽視されているようだ。  
『流れが速いところでは圧力が低い』というのがベルヌーイ(1700～1782年)の定理である。  
身近な例が「台風」であり、気圧の低い環境下で高気圧と低気圧の気圧差によって、大気の流れが加速されて速くなり、ベルヌーイの定理により「台風のところでは、強風が吹き、流れが速く、圧力が低くなる」となる。もう一つの例は野球や卓球、ゴルフなど回転する球の周りの空気の流れをコントロールする技術です。右投手のシュート回転なら投手から見て右に回る。ゴルフのフックやスライスも同じ理屈である。

$$v_1^2/2g + p_1/\gamma = v_2^2/2g + p_2/\gamma$$

ただし、 $v$ ：速度、 $p$ ：圧力、 $\gamma$ ：比重、 $g$ ：重力の加速度

家庭生活での冷蔵庫、エアコンなどは「ヒートポンプ機能」を利用しているが、これこそ「ベルヌーイの定理」である。なお、保冷庫の電子ヒートポンプは「ペルチェ効果」の応用である。

# ベルヌーイの定理

流れが速いところは圧力が低い

